



後期学校評価アンケート 結果と分析

令和 7 年 3 月 2 1 日

京都市立北総合支援学校

令和 6 年度 後期学校評価アンケート にご協力いただき、ありがとうございました。

◇ 実施期間 令和 7 年 3 月 3 日（月）～ 3 月 1 2 日（水）

◇ 対象者・回答率

	保護者			教職員	児童生徒		
	小	中	高		小	中	高
対象者数 (人)	8 2	5 4	6 8	1 5 0	8 2	5 4	6 8
	2 0 4				2 0 4		
回答者数 (人)	7 6			1 3 9	4	1 0	2 0
					3 4		
回答率 (%)	3 7			9 3	5	1 9	2 9
					1 7		

◇ 分析・表示方法

- ・ 4つの選択肢（よくできている、大体できている、あまりできていない、できていない）の総数に対して、「よくできている」と「大体できている」を合わせた“肯定的な回答”の数値を、保護者・教職員・児童生徒や、各項目間で比較し、分析します
- ・ 成果や課題を把握しやすいように、90%以上を**水色**、80%未満は**黄色**で表示します

0【全体】※大項目内の平均値

目指す児童生徒像	保護者	教職員	児童生徒
1 健やかな身体をつくる	9 1 %	9 7 %	8 9
2 元気にあいさつをする	9 3 %	9 6 %	9 3
3 考え、工夫し、生き生きと表現する	9 1 %	9 7 %	9 6
4 願いや夢を持って心豊かに生きる	8 8 %	9 5 %	9 0
5 役割を担い、役に立とうとする	8 1 %	9 5 %	9 1
6 他者とともに生き、学び合う	8 2 %	9 8 %	9 6
7 全体	9 4 %	9 9 %	

- ・ 保護者の回答率が、1回目2回目の平均は40%でしたが、次年度では、回答率が更に向上するような方策を検討していきます。
- ・ 大項目で見ると、保護者・教職員・児童生徒とも、どの項目もバランスよく肯定的な回答がありました。全体的に、保護者より教職員の方が、評価が高い傾向が見られました。保護者数値についても、ほとんどの項目で昨年度よりも肯定的な回答が増えており、本校の指導や取組が、評価されていることが分かります。

1【健やかな身体をつくる】

保護者・教職員設問	児童生徒設問	保護者	教職員	児童生徒
1 児童生徒は、自分の身体や心を大切にしようとしている	(1)手洗いやうがいを毎日していますか	7 8	9 8	8 8
	(2)早ね早おきをしていますか			9 4
2 学校は、健康維持や体力づくりに関する取組を十分に行なっている	(3)ランニングやからだの学習などで、けんこうなからだづくりをしていますか	9 2	9 8	9 1
	(4)ふあんな時やしんどい時に、自分のきもちをまわりの人につたえていますか			8 8
3 校内や教室は、清掃され、衛生的である	(5)学校や教室のそうじやかたづけをしていますか	9 6	9 4	8 2
4 学校は、教材や備品の整理整頓、安全、事故防止に配慮している		9 1	9 4	

- ほとんどの設問で、第1回目と同等の数値でした。本校の健康に関する取組に、年間を通して高い評価をいただいていることが分かります。その中で、保護者の「児童生徒は、自分の身体や心を大切にしようとしている」の設問が、他と比べて数値が低いです。他の項目の設問でもありますが、保護者が、我が子自身が実際にどう思っている・感じているかが分からない、ということに起因するものと考えます。この設問の教職員の数値は98%です。学校での様子などを丁寧に伝えるなど、保護者が我が子のことについて、ポジティブに捉えられるような働きかけをしていくことで、保護者の数値も伸びていくことを期待しています
- 地域の方々の、多くの人が使用する本校です。全ての人が気持ちよく使用できるような学校を目指していきたいと思います。

2【元気にあいさつをする】

保護者・教職員設問	児童生徒設問	保護者	教職員	児童生徒
1 児童生徒は、自分なりの方法であいさつをしている	(1)自分からあいさつをしていますか	8 7	9 5	8 8
2 学校は、児童生徒が自分なりの方法であいさつできるように取り組んでいる		9 4	9 8	
3 教職員は、適切な言葉遣いや態度で児童生徒・保護者・来校者に接している	(2)先生は、人にあいさつをしたりていねいにかかわったりしていますか	9 6	9 4	9 7

- 挨拶に関するこの項目では、保護者・教職員・児童生徒ともに、高評価を得ています。1回目と同等の数値が記録しています。今後も引き続き学校全体で取り組んでいき、明るい雰囲気の学校づくりに努めていきます。
- 学校では毎月はじめの1週間に「あいさつ運動」を実施しています。また、日常的に授業開始の挨拶などが習慣化しており、登校時や来校者への挨拶も児童生徒の積極的な姿が見られます。挨拶が日々の活力向上や円滑な人間関係づくりに役立っています。挨拶の方法は一人一人異なりますが、挨拶には、相手の存在に気付く力や、相手とコミュニケーションをとろうとする姿勢が必要です。今後も、教職員が挨拶をする姿を見せたり、児童生徒に挨拶を促したりすることで、児童生徒の表現方法や発信する力、人と関わる力を高め、社会性の向上につなげていきたいと考えます。

3【考え、工夫し、生き生きと表現する】

保護者・教職員設問	児童生徒設問	保護者	教職員	児童生徒
1 児童生徒は、考え、工夫し、生き生きと学習に取り組んでいる	(1)学校の学習で「できた!」「やった!」と感じますか	90	97	97
2 教職員は、児童生徒が考え、工夫し、生き生きと学習に取り組めるように授業や教材を工夫している	(2)先生はわかりやすくおしえてくれますか	95	97	94
3 学校は、児童生徒が生き生きと主体的に取り組める授業や取組、行事を設定している	(3)学校生活はたのしいですか	97	95	97
4 教職員は、児童生徒の学習や取組の成果・努力を適切に評価している	(4)先生は、がんばっていることやできたことをみとめてくれますか	94	98	94

- ・この項目に関しては全ての設問で、90%を超えています。これは、本校の日々の学習や取組が概ね満足していただいている結果だと考えます。
- ・教職員は、学校教育目標「自分から 自分で 自分らしく みんなとともに学び合う子どもの育成」のもと、「個別の包括支援プラン」に基づいて、「主体的・対話的で深い学び」の授業づくりに取り組んでいます。教職員の数値の昨年度よりも向上している背景には、教職員が「子どもたちがもっと考え、もっと工夫し、もっと生き生きと表現するためには、どんな工夫が有効だろうか」「もっとできることがあるのではないかと」日々試行錯誤している意欲が表れている面があると考えます。特に、専門性向上のため、自主的に研修等に参加する教員が増え、そこで学んだ知識や手法を日々の指導に取入れ、授業改善に生かされていることが数値として表れていると考えます。

4【願いや夢を持って心豊かに生きる】

保護者・教職員設問	児童生徒設問	保護者	教職員	児童生徒
1 児童生徒は、願いや夢に向かって生き生きと学習している	(1)わからないときは自分から他の人にすすんで聞いていますか	76	93	91
2 「個別の包括支援プラン」は、本人および保護者の「願い」「目指す姿」の実現を目指したものになっている	(2)学校生活は、なりたい自分になるためにやくにたっていますか	97	92	88
3 保護者、担任、授業担当者で児童生徒の実態や目指す姿、学習内容を共有している		90	94	

- ・設問1の保護者の数値は、昨年度までと同程度の数値です。これは、「わからない」と回答した方が、約13%いることによるものです。保護者の、本人を尊重する保護者の謙虚さが表れた数値でもあるかと考えます。捉えにくい本人の願いや夢ですが、普段の児童生徒の姿・行動から読み取り、懇談会などの機会と保護者と学校との間ですり合わせることで、より本人に寄り添った捉え方になるように努めたいと考えます。
- ・設問2は、保護者からは97%の高い評価をいただいています。「個別の包括支援プラン」は、本人および保

護者の願いや目指す姿の実現を目指して作られるものです。保護者や児童生徒本人の願いや目指す姿を、学校側が丁寧に受け止め、個別の包括支援プランに落とし込めており、高い数値に繋がっているのだと考えます。

5【役割を担い、役に立とうとする】

保護者・教職員設問	児童生徒設問	保護者	教職員	児童生徒
1 児童生徒は、家庭で任された役割にやりがいを持って取り組んでいる	(1)まかされたことにせきにんをもってとりくんでいますか	7 3	9 1	9 1
2 児童生徒は、学校で任された役割にやりがいを持って取り組んでいる		8 9	9 8	
3 学校は、児童生徒が役割を担うことで自己有用感が高まるように活動の機会や場を設定している		8 7	9 4	
4 学校は、児童生徒の目指す将来の生活（進路）を見据えて、適切な指導および支援をしている		8 5	9 2	

- ・項目全体として、保護者と教職員の差があります。児童生徒は、家庭や学校の「場」を分けて質問していませんが、回答した多くの児童生徒が、「責任を持って取り組んでいる」と回答しています。設問1は、保護者は、「あまりできていない」「できていない」が16%いる一方で、「わからない」と回答された方も11%います。設問2については、保護者の数値も高いことから、児童生徒が役割に取り組むこと自体は、保護者もできていると捉えていることが読み取れます。学校でできている役割活動を家庭や地域でも発揮できるようにしていくことが、ここ数年の課題となっています。
- ・進路指導に関する設問4については、教職員には、卒業後の生活を意識した取組を心掛けられるように、またそれを保護者とも共有しつつ、保護者のニーズに寄り添い丁寧な指導を行ない、本人にとってより良い進路に繋がられるように、取り組んでいきたいと思います。

6【他者とともに生き、学び合う】

保護者・教職員設問	児童生徒設問	保護者	教職員	児童生徒
1 児童生徒は、友だちに親しみを持って、学校生活を送っている	(1)友だちとなかよくすごしていますか	9 1	9 7	9 7
2 学校は、児童生徒の社会参加に向けて、多様な人と関わる取組を設定している（校内、地域、交流学习及び共同学習）	(2)かぞくや友だち、先生をたいせつにしていますか	8 0	9 8	9 7
3 児童生徒は、きまりや約束を守って学校生活を送っている	(3)きまりややくそくをまもっていますか	8 3	9 8	9 4
4 学校は、児童生徒がルールや約束を守ることの		8 9	9 7	

大切さを学べるように指導している				
------------------	--	--	--	--

- ・この項目に関しても「わからない」と回答した方が一定数います。学校生活における、きまりや約束、またルールを守ることの大切さは、教職員や児童生徒は当然のものと捉えており、それが数値として表れていると思います。
- ・設問2は1回目よりも数値が上がっています。昨年度からの「ウェルビーイング「地域協働」」をキーワードとした教育実践が浸透してきた結果だと思われます。同設問の教職員の数値が98%で、学校としては、取り組めていると考えています。次年度も地域とともに歩んでいけるような実践を進めていきたいと考えます。

7【全体】

保護者・教職員設問	児童生徒設問	保護者	教職員	児童生徒
1 教職員は、本人・保護者の思いを受け止め、誠実に対応している		95	99	
2 学校は、学年だよりや学校だより、すぐーる、学校ホームページ等を通して学校の様子を伝えている		90	98	

- ・この質問群は、「目指す児童生徒像」にこだわらず、学校全体について評価する項目になっています。
- ・保護者、教職員ともに高評価をいただいています。教職員は、保護者と日々の連絡帳、懇談会での話し合い、必要に応じた電話や家庭訪問等で、誠実に対応するように努めております。
- ・設問2の学校の様子発信については、すぐーるによる授業や行事の様子を発信しております。ホームページでは全体の様子、すぐーるではより詳細な様子がわかるように、棲み分けて発信しております。学校教育活動の情報発信と説明責任を適切に実行し、「社会に開かれた学校」につなげていきたいと思ひます。またそれが、本校の児童生徒の社会的理解につながり、共生社会の実現につながると考えます。